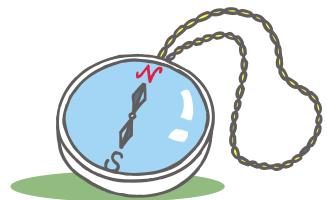


# 羅針盤



第 25 号

令和6年12月24日(火)

## ◆ 「玉磨かざれば光なし、人学ばざれば智なし」

「人は人によって成長する」とよく言われます。生徒の皆さんには、日頃の学校生活の中で、先生方から何度も同じことを注意されるといったことがなかったでしょうか。それは、自分自身が失敗に気がついていないことや、あるいは、気づこうとしていない、または、注意されていることを自ら拒もうとしているからではないでしょうか。自己の成長をなくしては、新しい自分（成長した自分）に出会うことはできません。2学期の終わりを向かえる今日の終業式の日に、今一度しっかりと振り返り、自分自身を見つめなおす節目の日としてももらいたいものです。生徒の皆さん一人ひとりが、この2学期の行動や言動といったものを顧みたときに、改善することを心掛け、自分自身の成長へつなげることがどれくらいできたかということ。自分自身だけの力で成長するといったことは、本当に難しいことです。心が挫けてしまうような場面も度々訪れるものです。周囲にいてくれる友だちの支えや、先生方からのアドバイス、家に帰れば家族の皆さんの励ましなど、一つ一つのことを大切に受け止め、充実した学校生活を過ごすことができたかどうか、それこそが自分自身の成長へつながるもの以外の何ものでもないはずです。明日からは、冬休みに入ります。新しい年を迎え、1月8日の始業式には、皆さんの一人ひとりが一年間の課題や目標を設定し、素晴らしいスタートをきってくれることと大いに期待しています。「玉磨かざれば光なし、人学ばざれば智なし」という言い古された言葉があります。玉（宝石）の原石も磨かなければ原石のままで光を放つことはない。つまり、いくら才能があっても、それを伸ばす努力をしないと大成しないという意味です。どんな人にも努力が必要なことは、これまで何度も繰り返しあたたかくお話ししてきました。3年生の皆さんにとっては、残された中学校生活も3ヶ月余りとなります。自分が決めた進路に向けて、遺憾なく持てる力を発揮できるよう、そのためには、十分な「準備と努力」が必要です。「備えあれば憂いなし」。誰もが笑顔で春を迎えることができるよう、卒業までの最後の最後まで努力を怠ることなく、困難をはねのけて、自分の力を信じ、前へ前へと進んでいってください。そして、1年生、2年生の皆さんには、今の学級で過ごすのも、3学期を残すばかりとなりました。この1年間の成果が問われる3学期が年明けには始まります。学級の仲間とのつながりの中で、どれくらい成長することができたか、互いに高めあうことのできる存在であったのかどうか、より一層有意義な時（とき）を過ごされることを望んでいます。



明日より冬季休業期間に入ります。新たな年を迎える冬休みではありますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、3学期も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてよろしくお願ひいたします。  
(校長 坂井伸治)

